

原ゆうじのプロフィール

1965年 松戸生まれ 上本郷小、六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業であるベーカリー店を継ぐ。平成22年、市議会議員初当選、2期目。妻、4子(3男1女)の6人家族。

政策で勝負!

原ゆうじ  
公約

徹底的に **無駄** を省き、自ら稼ぐ & **未来** に投資を!

そして **松戸** を元気に! **明るく!**

2期目の原ゆうじ  
出来た事! & 公約達成に向けての秘策  
はこれだ!



原ゆうじの提案実現

1 | 和名ヶ谷クリーンセンターの入札改革!  
年9,000万円の増収!

松戸市の清掃工場(ごみ焼却施設)では、ごみを燃やす際、排熱をお隣のスポーツセンターの温水プールに送るだけでなく、蒸気を生じさせタービンを回し、発電(通称:ごみ発電)を行っています。

発電された電気は、工場内の電源として自家消費され、余った電気(余剰電力)は、東京電力に随意契約(※)により販売されていました。しかし原ゆうじは、視察により、広島市では入札でより高い価格で販売していることを調査。広島市以外の動向も調査したうえで松戸市に対して、**随意契約をやめ、入札をして、より高値での販売を!**と提案。市も実施を決め、27年4月から入札による販売を開始。結果、年約9,000万円の増収となりました。

(注) 随意契約とは? 入札など競争によらず任意の相手方との契約。地方自治体は入札による契約が基本とされている。

年度	売電電気量(kwh)	売電金額
26	12,652,426	1億4354万円
27	13,264,601	2億3439万円
28	13,242,040	2億3392万円



クリーンセンター内 発電機

原ゆうじの提案実現

2 | 原ゆうじ4年越しの提案実現! 防犯灯全面LED化完了!  
初期費用で約7億円、経費で年約1億円の削減!  
市内防犯灯36,000灯がオールLED灯に!

原ゆうじ1期目、市内道路灯のリース方式による全面LED化を提案、結果、年約8,000万円の経費削減(電気代約7,000万円+修繕費約1,000万円)となりました。そして、当初からその数の多さから**照明LED化の本命としていた防犯灯のLED化**を4年にわたり提案、見事、リース事業により**課題であった約13億円の初期費用の問題をクリア**し、実現へとこぎつけました。結果として初期費用で当初市計画より約7億円、ランニングコストも主に電気代削減より年1億円以上の削減となりました。



明るくなった防犯灯

〈従来の松戸市LED化計画〉  
市内防犯灯36,000灯のうちLED化未実施の防犯灯約31,000灯を10年間で徐々にLED化

**VS**

〈原ゆうじのLED化案〉  
リース契約(初期費用軽減) & 31,000灯まとめて入札し一気にLED化する案

**原ゆうじ案実現!**

LED灯 43,000円から18,912円に!  
設置費用が1灯あたり**24,000円**の削減!

24,000円×31,000灯 = 約7.4億円の削減成功!  
& 防犯灯が明るく(写真) & CO<sub>2</sub>も削減!  
= 防犯力UP!

原ゆうじの提案実現

3 | 土地開発公社の解散実現! 年約1億円の経費削減!  
土地4か所で約51億円の評価損&天下り先でもあった公社の解散

土地開発公社(松戸市の外郭団体)は公共用地を先行取得するために設立され、土地の値上がりがある年のようにあったバブル期以前は値上がり前に土地を取得することで大きな役割を果たしていました。しかし、逆に土地が値下がりする時代になると、先行取得した土地は値下がりし、評価損が大きくなってしまいました。結果、わずか所有地4か所で何と約51億円もの評価損を抱え、土地利用も進まず、また借金での購入であったので年間1億円弱の利息も発生していました。そこで原ゆうじは「**公社の役目は終わった。利息だけの支払いでは借金は減らない! 所有地を買い取り公社の解散を!**」と市に平成23年から提案し、市議会の否決などありながらも難産の末、平成29年4月ようやく公社解散となりました。その結果、公社所有地の利息&経費で年1億円の経費削減と、土地利用の促進となりました。

松戸の未来へ  
全力投球!  
スポーツ環境の充実を!

他にも様々

この4年間で原ゆうじの提案が実現!

原ゆうじ公約: スポーツ環境の充実を! について  
運動公園野球場の改修: フェンスの改修。電光掲示板の導入。人工芝化。運動公園体育館の冷房化&LED化  
広告事業による増収策の提案: 松戸駅東西デッキ上にデジタルサイネージ設置。5年で500万円の収入。  
独居老人用緊急通報装置の随意契約の見直し提案: 入札により年800万円の経費削減!

TEL: 047(368)2390  
FAX: 047(368)2391  
携帯: 070(5540)9565  
メールアドレス: yuji.hara88@gmail.com  
ブログ(原ゆうじの日記)も好評配信中!  
公式HP: hara88.mobi 原ゆうじで検索!

松戸を  
元気に!

# 原ゆうじ今後の提案!

やります!  
変えます!  
民間感覚で!

# 「税金の無駄遣いは許さない!」

原ゆうじ  
政策

## 提案1 電力自由化を活かせ!

### 市施設をまとめて電力購入の入札を(久留米方式)! 目指せ1億円以上の電気代削減!

現在、市内小学校(45校)、中学校(20校)、市立松戸高校の電力購入は、教育委員会で全校をまとめて入札を行い、より安値で購入をしています。

しかし、市の施設を見渡せば、市役所本庁舎以外はほぼ電力入札を行っていません。これらの施設をそれぞれの施設ごとではなく、まとめて電力購入の入札を行い、スケールメリットを活かし、より安値での購入を目指すべきだと思います。

福岡県久留米市では市の施設をまとめて入札し、年間1億円以上の電気料金の削減に成功しています。人口約30万人の久留米市で年1億円以上の削減ということは、人口約50万人の松戸市であれば、施設数も多く、**年2億円弱の削減**が見込めるかもしれません! 特に**年間2億円以上の電気代を使用する市立病院が本命**かと思えます。役所の縦割り意識を打ち破れ! 組織を超えた連携でまとめて入札! やり抜きます!

▼久留米方式による久留米市の削減額(久留米市ホームページより)

年度	削減額	削減率	施設数
15	1億1,351万円	17.1%	99
16	1億7,744万円	22.3%	125
17	1億9,274万円	24.5%	127

松戸なら...  
2億円以上の削減!?

## 提案2 家庭ごみ収集業務の見直しを!

### 松戸は流山のコスト2倍!?! 最大で年8億円の削減!



(原ゆうじ9月議会一般質問より)

現在松戸市では、家庭ごみの収集業務(収集車78台)は、1社との随意契約で行われています。

しかし、お隣の流山市では、競争入札で業者を選択、ごみ収集を行っています。問題なのは、その価格差です。松戸市が一台当たり**2,090万円**に対し、流山市は何と半額以下の**1,003万円**となっています。その差は1台当たり1,087万円! ということは、仮に松戸市が流山市と同価格となれば、

**1,087万円×78台=約8億円!**となります。

そこで、松戸市に対し「随意契約を見直し流山市のように競争入札の導入を!」と提案しましたが、市の答えは「NO!」。理由は「ごみ収集は、市民生活に直結する業務であり、経済性(価格)だけでは判断しない」とのこと。すぐに入札に切り替えるのは、業務に従事している方々の生活もあるので難しいと思いますが、未来永劫入札を考えないというのはおかしい! と思えます。時間はかかるかもしれませんが、実現を目指します!

▶まずはリサイクル事業(集団回収)の改革を! 市ルートは民間ルートの6倍!?

現在、松戸市では、紙類や缶、ペットボトルなどリサイクルできる資源ごみは、町会、自治会等で集め、契約した資源ごみ回収業者を通じリサイクルされる集団回収(民間ルート)と市の収集車が収集しリサイクルする公共回収ルート(市ルート)の二つがあります。民間の集団回収ルートでは、それぞれの重量ごとに市から決められた報奨金が町会等と回収業者双方に支払われており、その金額がリサイクルのコストとなっています。市ルートでは、資源ごみの収集費用とそれを選別する費用から、資源ごみの売り払い金額を引いたものがコストとなっています。さて、これらを資源ごみ1トン(1,000kg)当たりのコストで比較すると民間ルートでは**3,000円**、対し、**市ルートでは何と19,541円と約6倍強**となっていることが判明しました。あまりにも高すぎます! まずは**市ルートから民間ルートへのシフト拡大**をすべきだと思います。この改革だけで**年間1億1,400万円の経費削減**が見込めます。

**民間ルート拡大=経費削減=町会等の収入UP! =リサイクル意欲の向上!**となるよう全力でリサイクル事業の改革にすぐに取り組みます! そのうえで、収集業務の随意契約から入札へと本命の改革を目指します!

原の提案

資源ゴミ1トン当たりリサイクル費用は

民間ルート	市ルート
3,000円	19,541円

6倍以上  
の差!

そこで...市ルートから民間ルートへ  
**年間1億1,400万円の削減!**

原の思い

現実として子育て、スポーツ環境の充実など何をするのにもお金(財源)は必要ですが、松戸の未来のためにも安易に借金が増やしてはいけません。ではどうしたら?そこで、原ゆうじはしっかりと経費削減&増収策の提案をし、財源確保の努力をし、負担軽減を図ったうえで責任ある政策の実現を今後も目指します!  
**原ゆうじは、「税金の無駄遣いは許さない!」**この言葉をモットーにしっかりと民間感覚をもって、松戸を元気に! 明るく! 変えていきます!

▶松戸市と流山市の  
ゴミ収集費用の比較

	松戸市(随意契約)	流山市(競争入札)
収集車1台の単価	2,090万円	1,003万円
トン当たり収集費用	17,952円	9,633円